

地下熱グループ

メンバーの異動

北岡豪一（岡山理科大） 新規参加

宮越昭暢（産総研） 在外（5/15より10か月）

濱元栄起（産総研 東大地震研）

進捗状況

孔井温度データ（現有）の整理

東京

大阪

ソウル（韓国） KIGAM所有のデータが使用可能

台湾

バンコク

ジャカルタ

解析

地表面温度変動の復元

ジャカルタ孔井温度データのインバージョン解析

孔井温度プロファイルの測定

埼玉、千葉

大阪（地下水の水位・水質調査の一環）

5 地点

孔内温度の長期計測

自己記録式水温計の設置

埼玉

多点センサーケーブル方式の試験

琵琶湖博物館の孔井

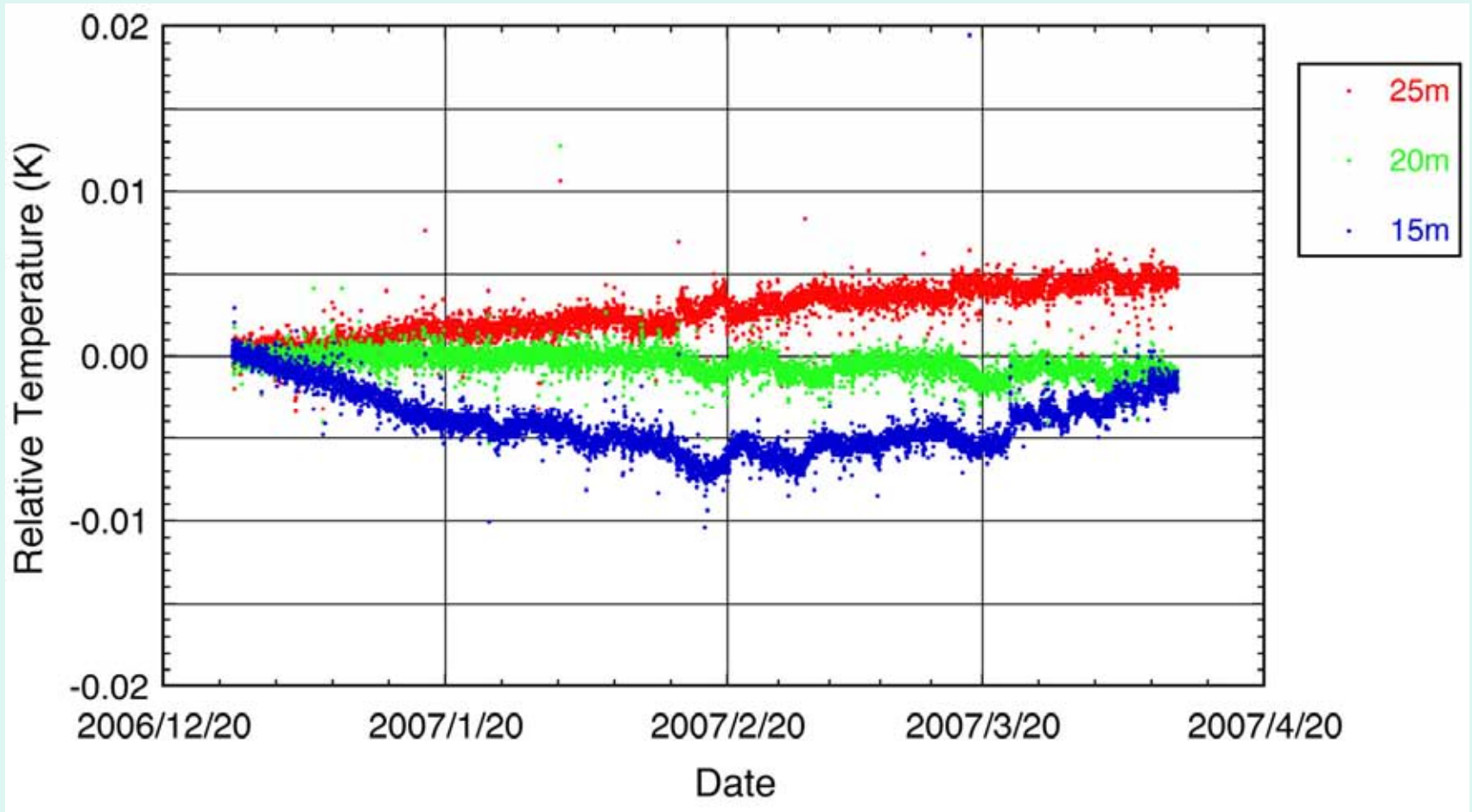


データはPCに収録

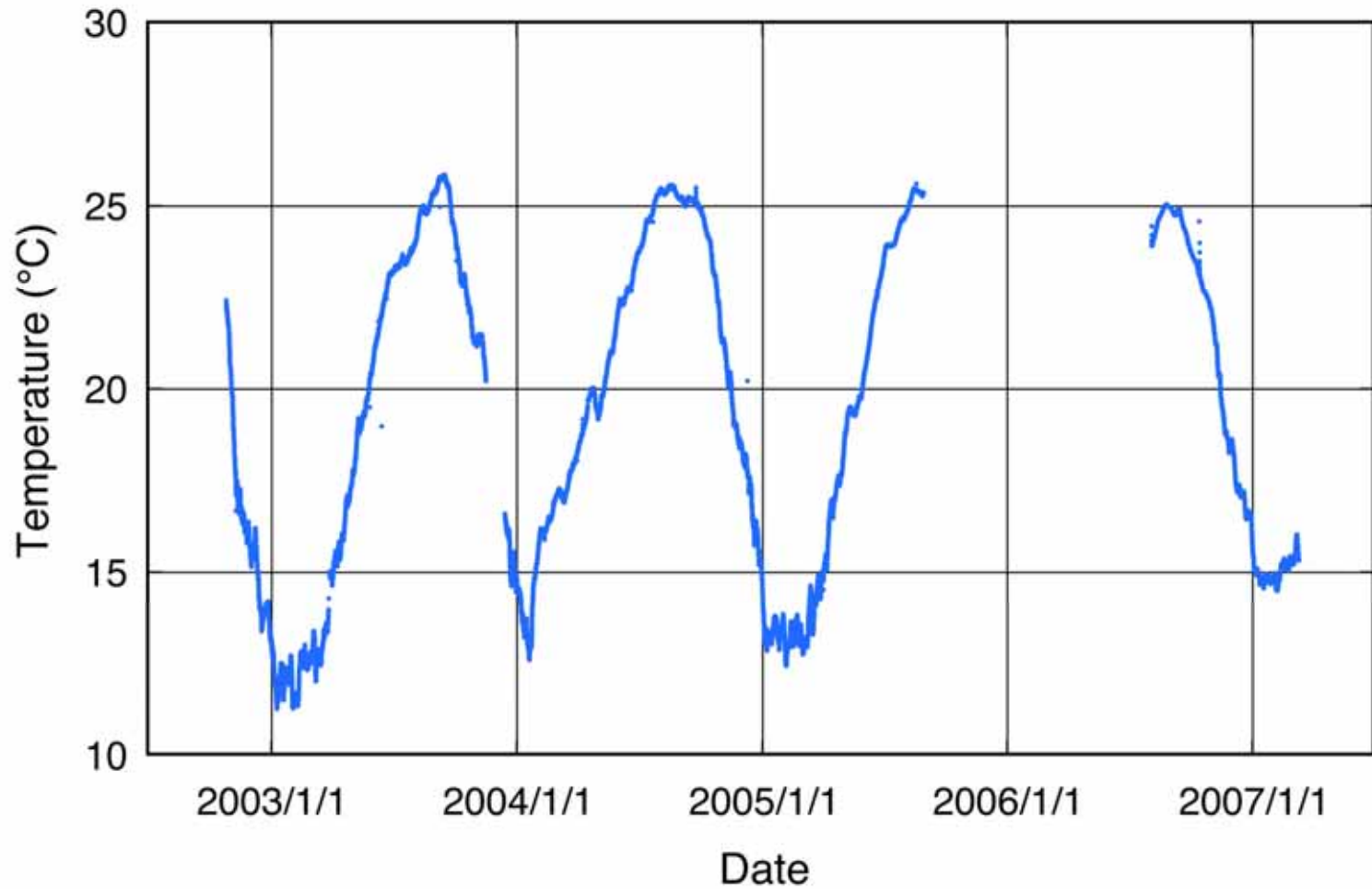


センサー10個(15, 20, 25, 30, 40, 50, 60, 75, 100m)

浅い部分の記録 (2006年12月 ~ 2007年4月)



孔口における温度変動



今年度の予定

解析

地表面温度変動の復元

インバージョン解析

フォワード解析

POM（気温データを制約条件とする）

計測機器

多点ケーブル方式の改良

東京近辺の孔井への設置を目指す

国内での観測

(東京)

大阪

孔内温度プロファイルの測定 (新規、繰り返し)

国外での観測

台北 (台湾) 6/20 ~ 27

バンコク 8月以後

ジャカルタ 8月 ~ 9月?

- ・ 孔内温度プロファイルの測定 (新規、繰り返し)
- ・ 長期温度計測 (孔井内、土壌)
データ回収、再設置 (移設)
- ・ データの収集 (孔井周囲の地層、物性など)
- ・ カウンターパートが測定を継続する体制の確立